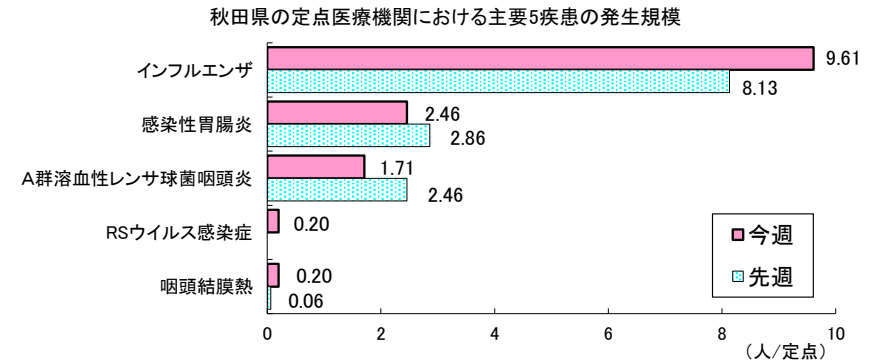




**【第12週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で増加、大館、北秋田、能代、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で14%減少しています。保健所別では、大館、秋田中央、湯沢で増加、由利本荘で同規模、秋田市、北秋田、能代、大仙、横手で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で30%減少しています。保健所別では、大館、大仙で増加、北秋田で同規模、秋田市、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。



**発生報告**

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減			
RSウイルス感染症		0.20	↗		0.14	↗														0.75	↗		1.00	↗						
インフルエンザ	8.13	9.61	↗	4.09	8.27	↗	6.14	3.71	↘	10.33	5.00	↘	7.25	3.25	↘	6.17	9.50	↗	12.00	16.83	↗	10.29	12.43	↗	10.00	17.00	↗	12.00	8.80	↘
咽頭結膜熱	0.06	0.20	↗	0.14	0.43	↗													0.25		↘		0.25	↗					0.75	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.46	1.71	↘	3.43	2.57	↘		0.50	↗	0.50	0.50					5.00	3.00	↘	3.75	2.25	↘	1.25	2.50	↗	1.67	0.33	↘	4.00	1.75	↘
感染性胃腸炎	2.86	2.46	↘	3.14	1.71	↘	0.50	1.25	↗	4.00	2.50	↘	5.00	2.67	↘	3.25	4.25	↗	0.50	0.50		1.25	1.00	↘	5.00	3.67	↘	4.50	5.50	↗
水痘	0.03	0.06	↗											0.67	↗							0.25		↘						
手足口病	0.03		↘																0.25		↘									
伝染性紅斑	0.20	0.14	↘	0.14	0.14		1.50	1.00	↘																					
突発性発しん	0.29	0.11	↘	0.29	0.14	↘	0.75		↘	0.50	1.00	↗	0.33		↘				0.50		↘					0.33	↗	0.25		↘
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.03	0.03			0.14	↗																0.25		↘						
川崎病	0.03	0.03																	0.25	0.25										
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.14			0.33	↗				*	*		*	*		*	*		1.00		↘						*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.38		↘							1.00		↘				*	*											2.00		↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田中央保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-11週 全国	11週 秋田	12週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	4022	20	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	27		
	腸管出血性大腸菌感染症	210		
	腸チフス	7		
	パラチフス	4		
	E型肝炎	91		
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	102	7	
	エキノкокクス症	2		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	4		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-11週 全国	11週 秋田	12週 秋田
四類	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	40		
	デング熱	61		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	4		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	6		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	288	3		
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	178	3	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	73		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	384	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	12		
	急性脳炎	298	3	
	クリプトスポリジウム症	3		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	33		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	208	1	
	後天性免疫不全症候群	216		
	ジアルジア症	9		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	141	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	14		
	侵襲性肺炎球菌感染症	807	5	
	水痘(入院例に限る)	84		
	先天性免疫不全症候群	1		
	梅毒	1267	3	
	播種性クリプトкокクス症	31		
	破傷風	8		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	18		
百日咳	3338	38		
風しん	937	2		
麻しん	319			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	8			

トピック

<インフルエンザ入院サーベイランスの状況について>

インフルエンザ入院サーベイランスは、インフルエンザの発生動向や重症化の傾向を把握することを目的として、平成23年9月5日より年間を通して行われています。報告対象医療機関は、秋田県内8か所、全国約500か所が指定されており、インフルエンザによる入院患者の人数や臨床情報を、1週間(月曜日から日曜日)ごとに国へ報告しています。得られた情報は毎年9月から翌年5月頃まで毎週公表されており、秋田県の状況については当感染症情報センター週報で、全国の状況については厚生労働省ホームページで閲覧することができます。

今シーズン2018/2019(平成30年9月3日~)の県内におけるインフルエンザによる入院患者数は、第12週現在で291人となっています。年齢別にみると、60歳以上の高齢者が約半数を占めています(図)。高齢者および呼吸器や心臓に持病のある人は、肺炎等を引き起こし重症化しやすいため、高齢者介護施設等ではインフルエンザ対策をより確実に行う必要があります。厚生労働省では、リーフレットや動画などの啓発ツールをホームページ上に公開していますので、御利用ください。

(参照)厚生労働省:インフルエンザに関する報道発表資料、啓発ツール

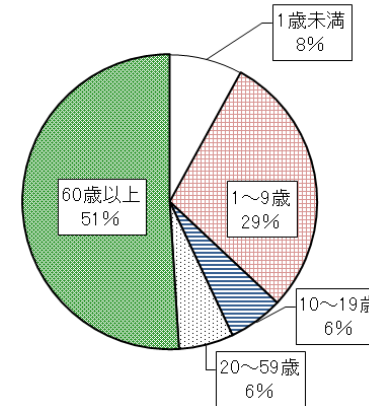


図 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者の年齢階級別割合  
2018/2019シーズン(2019年第12週現在)



2018年/2019年シーズン (2018年第36週：9月3日～) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

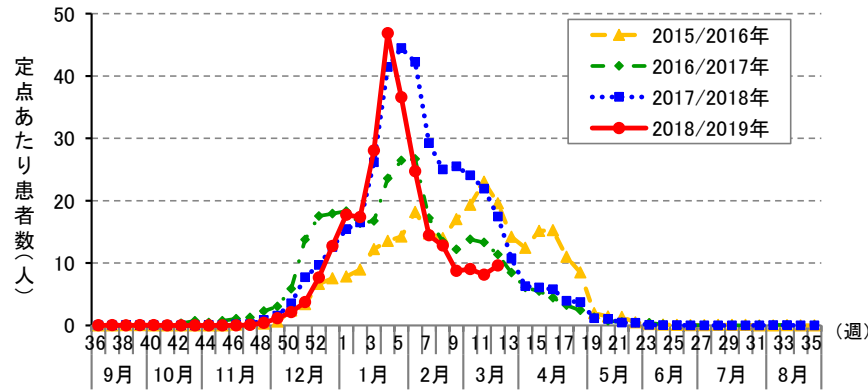


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が3件報告されました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
146	八郎潟町	介護老人保健施設 榮寿苑	3/18	110名のうち 9名	68名のうち 1名	10名
147	大館市	ニチイケアセンター 桂城	3/20	57名のうち 9名	16名のうち 1名	10名
148	秋田市	ケアホテルのぞみ	3/22	20名のうち 6名	15名のうち 5名	11名

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(3月24日時点)の報告数

148施設: 社会福祉施設41、保育所・幼稚園94、病院13

<参考>

○昨シーズンの年間報告数

170施設: 社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン

秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数(人)			
秋田県		全国	
3/18~3/24 (12週)	累計	3/11~3/17 (11週)	累計
15	291	277	19,285

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。



感染性胃腸炎情報

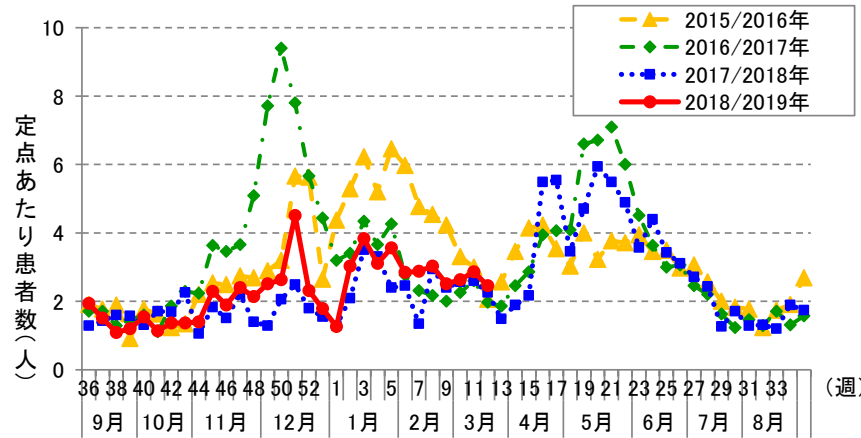


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が3件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
60	羽後町	にしもないこども園	3/18	211名のうち16名	46名のうち0名	16名	3/14 ~ 3/18	嘔吐、腹痛	ノロウイルス
61	北秋田市	七日市保育園	3/18	46名のうち11名	15名のうち5名	16名	3/13 ~ 3/18	発熱、嘔吐	-
62	湯沢市	深堀保育園	3/19	82名のうち10名	24名のうち3名	13名	3/16 ~ 3/19	嘔吐、発熱、下痢	ノロウイルス

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

- 平成30年度(3月24日時点)の報告数  
62施設 有症者856名:社会福祉施設6、保育所・幼稚園55、病院1
- 平成29年度の年間報告数  
42施設 有症者637名:社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

<参考>

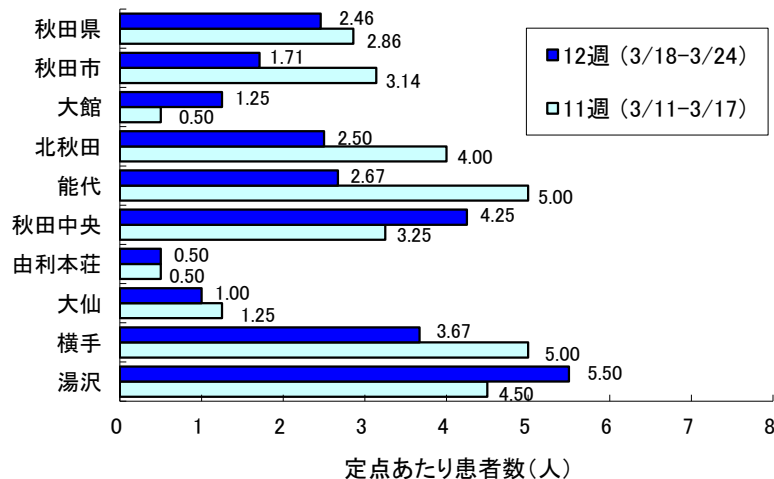


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	由利本荘(16.83)、大仙(12.43)、横手(17.00)	-

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		